

西尾の未来のために、今でできること



1957年6月、西尾をより良い町にしようと、31名のメンバーで発足。写真は創立当時のメンバーです。



1966年、創立10周年記念植樹事業の様子



2017年度理事長 平野謙吾さん

「青年会議所」って聞いたことはあるけれど、どういう団体なのか、実際にどのような活動をしているのか、知らない人も多はず。そこで今回は、61年の歴史を誇る「西尾青年会議所」の歩みを紹介するとともに、2017年度の理事長 平野謙吾さんに、これからの活動や今年の抱負についてお話を聞きました。

そもそも青年会議所ってなあに? どんな団体で、何をしているの?

青年会議所は20〜40歳までの青年で構成された団体で、「明るい豊かな社会」の実現という、共通の目標に向かって、メンバー同士が共に向上し合い、助け合いながら社会貢献をしています。簡単に言うと、「地域や世の中を良くするための活動」をしている団体です。例えば、地域の人々が参加できるような楽しいお祭りやイベントを主催したり、災害時は全国の青年会議所が協力して、支援活動が相互にできるような体制も整えられています。実は意外と、私たちの暮らしに関わりのある身近な団体なのです。また、メンバーは40歳になると卒業するルールがあり、常に新しい発想が生み出され、活発な活動ができるのも青年会議所の大きな特徴。若い力が集結することで、積極的な「まちづくり」が可能になるのだそうです。

西尾市にも、この地域のために様々な活動を行ってきた西尾青年会議所があります。私たちのまちの青年会議所には、どんな歴史があるのでしょうか。まずはその歴史をひも解いてみたいと思います。



2017年度の西尾青年会議所を引っ張る中心メンバー。
上段左より 常務理事/市川勝美さん、副理事長/岡田章裕さん、副理事長/河合恒一さん、専務理事/尾崎正憲さん
下段左より 筆頭副理事長/野澤孝さん、監事/石山勝範さん、理事長/平野謙吾さん、監事/廣瀬将人さん、副理事長/岡田洋平さん

一般社団法人 西尾青年会議所
西尾市永楽町3-45 西尾信用金庫中央支店内 TEL0563-57-5511
最新の活動はHPやFBをチェック! <http://www.nishiojc.jp/>

西尾青年会議所はいつ誕生したの? 今までどんな活動をしてきたの?

西尾青年会議所は1957年に全国で119番目、県内では6番目に発足。初代理事長の磯貝忠利さんをはじめとする31名のメンバーでその活動をスタートさせました。発足当初は、商工会議所の一室を借り、世界情勢や経済について熱く語り合うことが中心だったそうです。そして徐々に活動を行う仲間が増えていき、発足から10年目で47名、20年目で85名、30年目で92名、40年目で122名、そして61年目の現在は135名のメンバーが活動しています。今年、この大勢のメンバーを率いる理事長の平野謙吾さんは、「西尾青年会議所には、未来の西尾のために何かしたい、まちづくりがしたい、という熱い思いを持ったメンバーが多い」と言います。その熱い思いで、

西尾青年会議所は今までに様々な事業や運動を展開してきました。そんな事業や運動の中には、今でも継続しているものがいくつもあります。

例えば、西尾キャンぺインレディの前身、ミス西尾を決めるコンテストを企画・主催したのは西尾青年会議所です。当時、市制30周年を迎えた西尾市を、さらに盛り上げるために企画されました。現在は西尾市観光協会さんが事業を引き継ぎ、先月の「ぶらりん1月号」でも紹介した通り、西尾キャンぺインレディは様々な観光イベントなどで活躍しています。

さらに90年代後半、ゴミで溢れかえっていたみどり川の水质悪化を食い止めようと、当時のメンバーが立ち上がり始まったのが「みどり川クリーン作戦」です。この運動は多くの人を巻き込み、今でも継続されています。このクリーン作戦のおかげで、みどり川は魚が泳ぎやすい川に生まれ変わりました。

また、市民の皆さんに楽しんでほしいという思いで、タレントや

西尾青年会議所のこれからは? 2017年度はどんな活動をするの?

昨年60周年という大きな節目を迎えた西尾青年会議所。今年は今までの伝統を受け継ぎつつも、新たな一歩を踏み出す年となりそうです。理事長の平野謙吾さんは、「今年、先進技術がより豊かな生活に導いてくれると実感できるような、市民が未来を感じられるような事業を行ってきたい」と抱負を語ってくれました。さらに、青年会議所メンバーそれぞれが、未来志向の視点を持ち、新たなものを生み出せる青年に成長することも必要だと言えます。「自分たちで考えて自発的に動くことができるのが、青年会議所の魅力。私たちメンバーは、西尾市の未来を創っていくために常に向上心や好奇心を持ってチャレンジすることが必要です」と平野さん。

西尾市の未来に向かって、今年の西尾青年会議所はどんな活動をしていくのでしょうか。平野さんをはじめ、メンバーの活躍にぜひ注目してみてください!

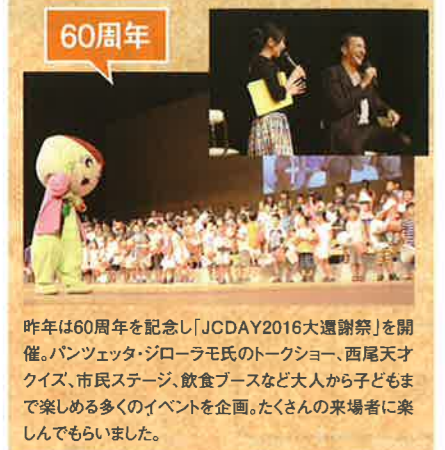


1986年9月、創立30周年を記念してタイムカプセルを埋設。その他にも、ケントギルバートさんの講演、新日本フィルハーモニー交響楽団を招いた音楽祭などを開催しました。

▼西尾青年会議所が企画・主催した「ミス西尾」コンテストの様子。写真は1986年開催時



1996年6月、よしもと新喜劇の公演を創立40周年記念として開催。山田花子さんなどの人気者が市民を笑顔にしました。また、姉妹都市であるニュージーランドのポリア市に40本の桜を植樹しました。



60周年

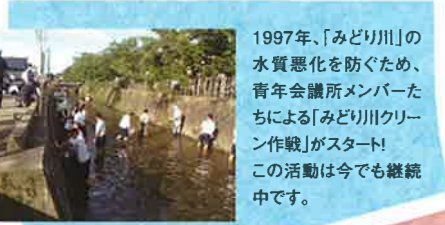
昨年60周年を記念し「JCDAY2016大感謝祭」を開催。パンツェッタ・ジローラモ氏のトークショー、西尾天才クイズ、市民ステージ、飲食ブースなど大人から子どもまで楽しめる多くのイベントを企画。たくさんの来場者を楽しんでもらいました。



50周年

西尾輪豆合併シンポジウム

50周年を迎えた2006年は、輪豆郡三町との合併前だったので、西尾市、輪豆郡三町の首長を招いた公開シンポジウムを開催。さらに、2005年の愛知万博で大人気だったモリゾー・キッコロも登場し、子どもたちも大喜び!



1997年、「みどり川」の水質悪化を防ぐため、青年会議所メンバーたちによる「みどり川クリーン作戦」がスタート! この活動は今でも継続中です。



Try next!!!